



小山薫堂氏が”日本語”を記し、小池アミイゴ氏が”絵画”を描く 「旅」と「日本語」がテーマのアートギャラリー 「旅する日本語展 2019」を羽田空港にて開催！

日本空港ビルディング株式会社は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される 2020 年に向け、「旅」と「日本語」をテーマにしたアート展「旅する日本語展」を開催します。

「旅する日本語展」は羽田空港から飛び立つ人々の旅に旅情を添え、より豊かな旅を楽しんでいただきたく、2016 年から開催しており、今回の「旅する日本語展 2019」で 4 年目を迎えました。

今年度は 2018 年に続き、小山薫堂氏とイラストレーター・小池アミイゴ氏がコラボレーションして作品を制作しました。耳慣れないながらも美しい”日本語”を小山薫堂氏が選び、旅にまつわる物語を執筆。物語を基に小池アミイゴ氏が色鮮やかに旅の情景を描き、旅情あふれるオリジナルアート作品として展示します。

「旅する日本語展」の全 11 作品を羽田空港第 1 ターミナル 2 階出発ロビー上部の大型看板スペースに展示し、出発ロビーにて旅立ちの時を目前に控える人々に向け、旅と日本語の魅力をアート作品を通じて発信します。



途立つ
文：小山薫堂
画：小池アミイゴ

辛いことや悲しいことがあると
わたしはなぜか、空港に足が向く。
出発前には、夢に向かう希望があつて
到着時には、おかえりの優しさが溢れている。
もう、ここにはなくさんの愛がある。
だから、愛が足りないと感じたら
わたしは自然とここは来てしまうのだ。
空港は、新しい明日へ向かう場所
空港は、元気の途立つ場所。

みちたつ
出発する。
旅の途につくこと。

展示作品例



展示写真



心安
文：小山薫堂
画：小池アミイゴ

小山の旅の目的地は東京だ。
でも、あの空の下で、家族三人
とでも一緒に過ごすことができた。
自宅に帰るのときは、帰って来たあとも
今は空港の待合室で、スマホを握って。
この瞬間を、この瞬間を、この瞬間を。
この瞬間を、この瞬間を、この瞬間を。
この瞬間を、この瞬間を、この瞬間を。
この瞬間を、この瞬間を、この瞬間を。

心安
心安
心安

展示作品例

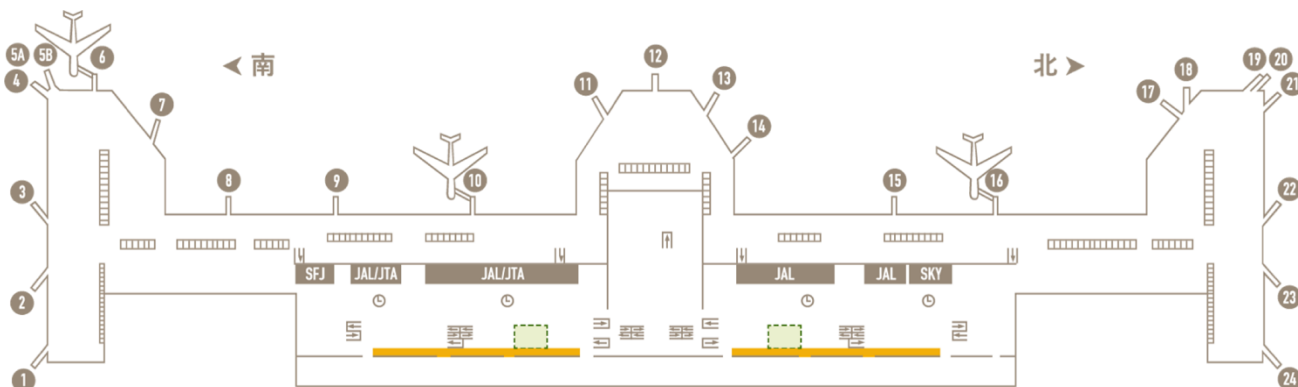
■展示場所：羽田空港第1ターミナル2階出発ロビー

■展示期間：2019年4月1日～2020年3月31日

■「旅する日本語」公式WEBサイトURL：<https://event.tokyo-airport-bldg.co.jp/tabisuru/>

■展示位置：羽田空港第1ターミナル2階出発ロビー

「旅する日本語展」作品展示位置



■作品関係者



Photo by Katsumi Minamoto

文： 小山薫堂

放送作家・脚本家

1964年6月23日熊本県天草市生まれ。

「料理の鉄人」「カノッサの屈辱」等、斬新なテレビ番組を数多く企画。初脚本となる「おくりびと」では、第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第81回米アカデミー賞外国語映画賞獲得をはじめ、国内外で高い評価を受けた。執筆活動の他、下鴨茶寮主人、京都造形芸術大学副学長を務める。

くまモンの生みの親でもある。



絵： 小池アミイゴ

イラストレーター

1962年群馬県生まれ。

長澤節主催のセツモードセミナーで絵と生き方を学ぶ。1988年よりフリーのイラストレーターとして活動。併せて音楽家や地方発信のムーブメントをサポート、展覧会や音楽イベント、ワークショップ開催を重ねる。2011年3月11日以降日本各地を巡り個展「東日本」に結実。絵本「とうだい」(作:齊藤倫、福音館書店)作画担当。

東京イラストレーターズソサエティ理事長。

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 旅客ターミナル運営本部 施設企画管理部 企画課

TEL:03-5757-8225 9:00-17:30(土日祝除く)